

★沼田老人いこいの家の令和4年利用状況

伴社協が市指定管理者として四期目の継続受託する沼田老人いこいの家について、令和四年四月十二月の利用者は囲碁や入浴など合わせて一万千百九十一人でした。

コロナ禍以前の利用者数は、令和元年同期間の一万六千二百八十九人を100%とすれば、二年八千八百六十七人（54%）、三年七千三百二十九人（45%）、四年は68%となります。コロナ禍で半減した二年間から回復したものの初年度同期の三分の二です。行動制限がなくなったと言っても、まだまだかつてのようには利用者は戻っていません。



写真は伴囲碁部のみなさん

このうち、介護予防教室（毎月第2・4金曜日）は同期間に十六回、延べ二百四十六人が参加しています。十二月一日は高齢者向けスマホサロン「初歩の初歩」を初開催しました。

新型コロナが五月から「5類」に変更されますが、いこいの家は注意を怠らないように努めます。

（総務部 中村晴男部長）